

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4271101869		
法人名	医療法人 啓正会		
事業所名	グループホーム モン・サン時津		
所在地	西彼杵郡時津町野田郷757-1		
自己評価作成日	平成30年1月9日	評価結果確定日	平成30年4月13日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.wam.go.jp/wamappl/hvoka/003hvoka/hyokekka_nsf/aResult?OpenAgent&P=1
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社 医療福祉評価センター		
所在地	長崎市弁天町14番12号		
訪問調査日	平成30年2月27日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

常に入居者様の立場に立った介護を意識しながら行い、意思疎通が難しい場合でも極力本人様の意向を汲んだケアを心がけています。
地域交流や包括との連携も行いつつ、入居者様、またご家族様も安心して生活していただける施設作りを目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

理念の共有を工夫している点として、法人には全事業共通の理念が幹にあり、更にグループホーム事業内の基本方針、その延長線上に事業所の目標を掲げている。このように職員が理念に基づくケアの実践をイメージしやすいように、特に事業所の目標は職員皆が参画して、わかりやすい文言で表現している。次に地域密着型サービスとして地域との関わりが多く、地域の花壇作りや清掃、運動会等に参加して地域との関係性を保つと同時に、入居者の参加も積極的に促して、地域の中の一員という認識を活動への参加を通じて示している。このように入居者が地域の中で安心して生活することができるのは、普段からホームと風通しの良い関係を築くことができているからで、ホームとしては普段から迅速に要望等へ対応できるように努めている。最後に入居者への直接的な処遇の面で、介護計画の実施状況が皆で共有できるような様式であったり、仕組みを作っているため、チームで入居者を支援する体制が整っている。このような取組みが個別排泄チェック表を用いた排せつ面の自立支援等へと繋がっている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ミーティング時に法人・事業所理念の読み上げを行い意識を共有し理解を深め、利用者様が笑顔で生活できる環境作りに努めています。	法人にあるグループホーム全体の理念として「優しく・楽しく・元気よく」を掲げている。更にわかりやすく落とし込んだ、モンサン時津の理念として「入居者様が楽しくほっとできる毎日を送れるようお手伝いします」という文言がある。職員の目に付きやすいところに掲示して意識を高めるとともに、定期的にミーティングの際に確認するようにしている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の清掃や運動会など積極的に参加することで、入居者様が地域と関わり合いのできる場を作り、イベントの際は近隣の方に遊びに来ていただけるよう声掛けも行っています。	地域の活動には積極的に参加している。例えば毎月最終土曜日に老人会と共に近隣の花壇作りや、6月にはホームの所在しているエリアで開催されている運動会にも参加している。この催し物には入居者も職員と一緒に参加している。この他町民清掃への協力体制等様々な行事に参加している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域住民と協力して複数の世代を対象とした認知症サポーター講習を行い、地域で生活されている認知症の方を地域ぐるみでサポートできるよう努めています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では事業報告に加えて入居者様の活動の報告、行事の時の様子などを報告しています。包括職員や民生員の方からも意見をいただき、サービス向上を目指しています。	運営推進会議の議事録を確認したところ、入居者へ提供しているサービスの内容や、行事の活動内容、参加者からの質疑応答等を確認することができた。参加者の中に同一法人の医療連携室の職員がいるため、様々な情報を共有できて地域の参加者も有益のようであった。今後、定期的な開催や参加者の幅が広がれば、ホームや入居者にとって、より一層意義のある会議となるため、運営推進会議の開催についても、年間計画を見直す機会を設けてみると良いかもしれない。	運営推進会議の計画的かつ定期的な開催を期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	空室状況の報告や運営推進会議への参加 声掛けの他に、地域で開催する認知症講座の時等にも非常に強力的にサポートして下さっています。	特徴的な取組みの1例として、同一法人の医療連携室の職員と協力しながら、町の認知症キャラバンメイトの手伝いをしたり、地域包括支援センターからの依頼もあり、サポーター講習を開催する等、認知症の理解促進や、地域で支えることの普及活動に尽力している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員一人一人が身体拘束の意味を理解し、直接的な拘束のみでなく、スピーチロックなど言葉による拘束も決して行わないように全員が意識を統一しています。	身体拘束廃止等に関する職員へのアプローチ方法として、まず入職時には新人研修のプログラムの中に項目が盛り込まれている点が掲げられる。現任の職員に対しては年間研修計画に基づき法人内研修を行ったり、外部研修に参加を促している。また法人のポリシーとして、「身体拘束をしない。どうしてもそのような行為をしない支援ができるか。」と掲げて日々職員同士で意見交換をしている。但し、廃止に向けた取組みは組織的に行うべき一面もあるため、身体拘束/虐待廃止委員会の定期的な開催が今後の課題と言える。	職員会議やその他の会議等と連動させてもいいので、身体拘束/虐待廃止委員会の定期的な開催を期待したい。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的に虐待についての勉強会を行い、絶対に虐待を行わないと職員全員が心掛けて業務に努め、職員のストレス軽減にも重きを置いています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在とはとくに学ぶ機会を設けていません。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際には後に理解の相違がないよう努め、利用者及びご家族の不安や疑問点も解決できるよう話し合いを行います。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置や外部評価でのアンケート等で意見をいただけるようにしています。それ以外でも、直接職員にお話して下さった意見などは迅速に対応するように努めています。	入居者やその家族からの声は、職員に対して多く聞こえてくることであった。掃除が行き届いていない部分の指摘であったり、外来専用のスリッパの老朽化に伴う入れ替え要請等が例として掲げられる。その他、共有スペースのテレビのサイズが入居者には見えにくいという意見が出た際、3ユニットともテレビを入れ替えて要望に応じている。このように入居者や家族の声を反映させている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	業務的な部分に関しては、定期的に会議の場を設け、職員が意見や提案を言える状況を提供していますが、運営的な意見を聞く場というのは特に定めていません。	ホーム長は日常業務の中で、職員からの意見を聞く機会を意図的に設けている。またホームとして正式に位置づけている意見集約の場は、毎月1回開催している「フロア会議」となっている。この会議にはホーム長やケアマネジャーも参加して、入居者の状況把握と共に、職員の効率的な働き方を参加者全員で意見を出し合って協議している。実際に職員のヒアリングの際にも、意見や悩みを言いやすい環境にあることであった。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に3回能力開発面談を行い、職員が管理者・代表と個別で話す機会を設けています。そこで職員から目標や意見、どのように業務に取り組んでいきたいかを確認し、やりがいをもって勤務できるように努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人外の研修に参加する際の勤務調整等サポート行っています。 法人内でも月毎に勉強会を開催し、様々な職種の方を講師として迎えており、これにも積極的に参加できるよう声掛け行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会への加入し、同業者と交流する機会を作り、ネットワーク作りを進めサービスの向上に取り組んでいます。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	管理者・ケアマネージャーが入居前に本人様・ご家族と面談を行い、要望に沿った生活ができるプラン作りを行っています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人様とご家族の要望は可能な範囲取り入れるように努めています。 また、ご家族が面会に来られた際に積極的にコミュニケーションを取ることで信頼関係の構築に努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人様の残存能力の活用とご家族の経済的な負担等も考慮しつつサービスの提案を行い、職員も本人様の希望に応じて柔軟に対応させて頂いております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様の日々のコンディションや気分的なものを考慮し、洗濯物畳みやフロアのモップ掛けなど職員と一緒にさせて頂いています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時に近況報告等を行い、家族様の考えを聞き入れ、支援において変更を検討したい場合など、ご家族様に相談を行い協力を仰ぐようにし共に本人を支えていく関係を築いています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	日常生活や会話の中に、本人様が大切にされている人や場所を取り入れるようにし馴染みの関係の継続を支援しています。	ホームとして入居者が孤立しないように、できるだけ家族との関わりを中心に関係継続の支援を行っている。自宅に戻ってお昼ご飯を食べたり、通っていたお店に出向いたり、職員だけではなく家族の協力も得ながら実践している。この他、ご近所さんや友達、元同僚の面会も比較的多いとのことで、今後も引き続き面会等を促していく方針であった。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が利用者様同士の関係を把握し、自然に利用者同士が関わり合える雰囲気作りを行っています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他所へ移動の際のご相談に対応したり、退所後も気軽に訪ねて頂けるようにし、必要に応じて相談や支援等を行っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人様の意向を最優先に考えた中で、本人様の希望に可能な限り対応できるように職員間で話し合いをし、その都度検討を行い意見の把握に努めています。	入居時に本人・家族より聞き取りを行う。日常生活の様子を観察し好きな事やできる事を把握する。嫌なことはしないように心がける。食事の際も嗜好を把握することにもつなげている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日常生活中で、生活歴や好き嫌い等を引き出し、それを職員間で毎日ミーティングを行うことで把握し支援に役立てるようにしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人様の残存能力を活かせるような支援を行いつつ、日々の体調等にも気を配り、無理なく生活していただけるよう努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリング期間内に、心身の状態や細かな変化気付くように心掛けて介護を行い情報収集しケアプラン作成を行っています。	モニタリングを3ヶ月毎に行っている。担当者会議には皆の意見を取り入れ、個人カルテには介護計画の目標を番号表示し、達成しているか毎日確認が行われている。ヒヤリハットも参照しケアプランの作成を行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録の作成のための情報共有し、継続的なケアを提供するため、状態の変化等については日々のミーティングにて報告を行い、全ユニットで周知できるよう努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者様、またそのご家族のご希望にはできる範囲で柔軟に対応していきたいと考えていますが、職員数の問題などもあり、必ずしも対応できるというわけではありません。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	自治会主催の敬老会への参加や老人クラブとの交流等を引き続き行っています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居の際に協力会社の説明もさせていただき、納得していただいたうえで入居となっています。また、別のかかりつけ医を希望された場合においても臨機応変に対応させていただきます。	入居時に主治医の引継ぎを行っている。眼科や歯医者等家族が対応している。月2回の往診があり、訪問看護の訪問も随時行われている。主治医と看護師、ホームとの連携があり24時間体制で支援が行われている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	定期的な訪問看護師の巡回に加え、入居者様の状態の変化を逐一、協力病院に報告・相談し、迅速かつ適切な対応ができるよう指示を仰いでいます。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力病院には常に連絡を取り合っており、入院中の入居者様の状態確認や退院時期の相談等おこなっています。また、それ以外の病院に入院される場合であっても、病状を説明できる看護師が付き添い、情報交換をスムーズに行えるよう努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期に向けた方針については入居の際の書類にも明記し、主治医・ご家族・職員を交えての病状説明等を行い、どのように進めていくのかを本人様とご家族の意向を最大限汲みながら検討を行うようにしています。	重篤な状態(食事ができない、酸素が必要等)になると主治医が家族に説明をしている。ユニット間や法人間施設、主治医、看護師、ホームが情報を共有し、24時間体制で連携を取り支援が行われている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に救急救命の講習を受けて、非常の際に備えています。AEDも常に使用できる位置に設置しております。協力病院があるので直ちに指示を仰いだり、迅速に搬送することが可能です。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を日常的に防火管理及び消火、避難訓練等を実施することにより、全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。 また、火災等を未然に防ぐための対策をしている	定期的に消防署立ち合いの訓練を行い、非常時の対応についてのスキルを身に着けさせています。 他にも、スプリンクラー・通報設備の点検や、施設周辺に燃えやすいものを置かない等気掛けています。	地域のハザードマップがあり土砂の災害の危険地域等把握し掲示している。職員が消火器を実際に使ったり緊急通報装置を作動する等の訓練を行っている。備蓄の食料もレトルトや米、水など1週間分用意されている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様の人格に配慮した声掛けを行うよう指導を継続し行い、居室入室時のノックなど基本的なマナーについても教育を行っています。	入居者の心地良い環境を提供できるようにしている。食事の時も嫌いなものや量を食べきれない時は無理をしないように配慮している。失禁時もさりげない支援を心掛けるよう指導を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働き掛け、ゆっくりと時間をかけて本人様の希望を引き出し支援を行っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的には本人様の希望を優先に考え、入浴日や診察日などは事前にお伝えして本人様の意見尊重し支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自分でその日着る洋服を選んでいただいたり、毎朝の整容・整髪のお手伝い等支援させていただいています。毎月1回、希望された入居者様への訪問美容院によるヘアカットも行っています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様と職員一緒に野菜の皮むき等も出来る範囲で行って頂いています。食事の後片付けも出来る限り手伝って頂いています。	誕生日はケーキを手作りし入居者と共にお祝をしている。法人間のグループホームと合同でバーベキューを楽しんでいる。筍の皮と一緒に剥いたり、旬の野菜なども取り入れ食事を楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	こまめな水分補給ができるよう、声掛け・介助を行い居室にも常に飲料水を常備しています。食事量は毎日記録に残し低下がみられた場合には補食なども提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声掛けを行い、ご自分でできない場合には職員が対応しています。入れ歯は夜間に洗浄し翌朝お渡しするようにしています。また、定期的に歯科往診を受け、口腔内の清潔に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個人の排泄パターンを把握し、その方にあつた時間に誘導を行うようにし、自立した排泄ができるよう支援しています。	全員の排泄チェック表の他に必要に応じて個別でチェック表をに作成している。排せつ状態を把握しおむつだった方もトイレに誘導するタイミングをとらえ紙パンツに変更し自立に向けた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給に重点を置き、朝食後には牛乳やヤクルトなど乳製品を提供しています。また、協力病院とこまめに連絡を取りつつ、下剤の調整も行っています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそつた支援をしている	入浴日に入浴されなかった方には別日に他ユニットで対応させていただいています。機械浴を導入したことによりサービス向上を行えるようになりました。	基本の入浴は週3回にしているが、ユニットごとにお風呂の日を設定しており、必要時はいつでも入れる体制を整えている。1対1で対応し雑談をしながらゆっくり入浴を楽しめるようにしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼夜逆転にならないよう気がけつつ、体調にあわせて日中に休息していただく場合もあります。居室の空調や照明等もゆっくり休んでいただけるよう職員が調整行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬に変更・追加があつた場合には必ず処方箋に目を通して、本人様の現在の病状と必要なお薬の把握に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	可能な方には日常生活のお手伝いをお願いしたり、毎日ラジオ体操を行い残存能力の維持も試みています。新聞購読や将棋など趣味が継続で来るよう支援しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそつて、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	気候や体調にもよりますが、近隣への散歩等、気分転換のための外出を行っています。季節を感じて頂けるような外出行事を企画し行っています。	近隣の公園を散歩し、外気に触れるよう心掛けている。年間の行事は季節の花見等外出の機会を多く持つようにしている。家族との外出を楽しんだり、服が欲しい入居者には職員と共に買い物に出かけたりしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ほとんどの方がご家族様管理となっておりますが、本人様で持つ事を希望される場合には、少額で対応させていただいています。金銭を所持されている方はご希望に応じて外出時にお買いものを支援させていただいております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご希望に応じて事務所の電話を使用いただき、ご家族様とやりとりをしていただいています。正月には年賀状を書き、ご家族様へ近況報告しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節にあった植物を配置し、季節ごとに装飾も行っています。また、温度や湿度などはこまめに設定し過ごしやすい環境を提供出来るよう心がけている。	入居者の体感に合わせて温度、湿度調整している。窓が大きく季節の流れを感じたり、金魚が水槽で飼育されていたり、鉢植えも置かれ家庭的な雰囲気がある。畳が敷かれている所では一緒に洗濯物をたたみながら会話を楽しんだりしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間ではソファーと大型テレビ配置し、それぞれ好みの場所で過ごせるようにしています。食事の席についても固定ではなく考慮して配置させていただいています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	在宅で使用されていた家具やコップなどを持ってきてもらい馴染みのものを使用いただいています。本人様の危険行為や防火防災の観点から、持ち込みをお断りさせていただく場合があります。	各部屋にトイレ・洗面台が設置されているが掃除が徹底され清潔である。備え付けの収納タンスがあり荷物の整理整頓がよくされている。他に仏壇や写真などおもしろいものを置かれている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご自分で出来る事は好きな時にご自分で行って頂き、カレンダーやメモを使用して自立した生活が送れるようにしています。		